

原発再稼働をやめ、再生可能エネルギー中心の社会への転換を求める署名



衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願趣旨

政府はエネルギー基本計画で、原発を重要なベースロード電源と位置づけ、再稼働に向けた動きを強めています。2030年のエネルギー比率でも、原発については、新增設するか、原則40年の運転期間を延長しなければ実現しない比率が提示されるなど、政府は、福島第一原発事故後も依然として原発依存政策を続けようとしています。

日本では、原発の使用済み核燃料再処理の見通しが立たず、再稼働により放射性廃棄物は貯まるばかりです。地震大国日本における原発の危険性、被害の重大さ深刻さは福島第一原発事故で実証済みです。世論は、原子力規制委員会が安全と認めても再稼働には反対が多数です。

日本の再生可能エネルギーの比率は、諸外国と比較しても立ち後れた水準にあります。再生可能エネルギーは地球温暖化対策の観点からも普及が求められており、目標を抜本的に引き上げるべきです。政府は原発の再稼働、新增設をやめ、再生可能エネルギー中心の社会に転換すべきです。

請願項目

1. 原発の再稼働・新增設をやめ、ただちに「原発ゼロ」を実現すること。
2. 原発からの撤退を決断し、再生可能エネルギー中心の社会に転換すること。

氏 名	住 所

※この署名は、国会に提出する以外には使用しません。